

事業番号	11 02 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	公共事業等監理諸費	部局	建設部	課・室	技術管理室	
		実施期間	不明～	E-mail	gijukan@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

建設工事等の入札契約事務について、入札制度改革の柱である「競争性の確保と行政効率の向上との両立」の目的達成のため、より安定したシステム運用が求められている。
 技術職員の大量退職により、技術力の継承が課題となっている。一方で、頻発化している災害やインフラの急激な老朽化など、現場から求められる技術系職員の技術力・対応力が、より高いものとなってきている。
 こうした状況に対応するため、最新かつ高度な知見を学び、技術力を向上させることが急務となってきている。

2 事業目的

電子入札及び工事事務管理システムについて利用者が安心して使用できるシステムの運用。
 建設部内で実施する現場等の研修会に加え、各種団体等が実施する専門研修を通じて、技術職員の技術の研鑽と対応力の向上を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①電子入札及び工事事務管理システムの安定運営
 ・電子入札及び工事事務管理システムの安定運営が図られるように受注者との連携強化
- ②職員の技術力の底上げ
 ・各種団体が主催する技術研修への職員派遣
 派遣先：（公財）長野県建設技術センター、国土交通大学校の技術専門研修、橋梁MAE養成講座等

4 成果指標

(推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	電子入札システムに関する事業者からの問い合わせ件数	件	956	705	↘	850	↗	800以下		事業者がより使いやすいシステムとなるため、カスタマイズして運用している。問い合わせ件数減少が使いやすいシステムの一つの指標となる。(R4年度は、電子入札システムの対応ブラウザの変更に伴い、各事業者ごと設定の変更が必要となったため問い合わせ件数が一時的に増える見込み。) R5年度は、R4年度よりは減少する見込みだが、対応ブラウザの変更による影響が依然残っているため、R4年度比概ね1割減として設定。	
②	指標なし										

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-2①	災害に強い県づくりの推進	該当なし									
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	該当なし									

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)		134,617		134,617	13,241	10.0
	(要求)		134,617		134,617	13,241	
R4年度	0	99,873	0	99,873	12,644	10.0	
R3年度	7,802	101,937	0	109,739	18,142	92,597	10.0
予算要求からの 主な変更点	要求どおり						

事業番号 11 02 01 細事業一覧（令和5年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	公共事業等監理諸費	部局	建設部	課・室	技術管理室
-----	-----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	監理諸費	101,937 千円	99,873 千円	(予算案) 134,617 (要求) 134,617 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	電子入札及び工事事務管理システムの安定運営	委託	・受発注者の安定運営に関する定例会 ・システム改修に係るワーキンググループの開催 ・定例会10回 ・WG3回	
2	土木職員研修	負担金	職員の技術力向上に向けた取組 土木専門研修（派遣150名）、国土交通大学校（派遣20名）、橋梁M A E 養成講座等（派遣15名）	